

市民ボランティア「森の仲間たち」

イベント情報!

★森のおはなし探検隊★

4月のテーマは「春を探そう!」

身近な自然から「春」を感じるものを見つけます。

開催日時：4月14日(日) 13:00~14:00

開催場所：子どもホール2階 集合

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

子どもから大人まで楽しめるプログラムを
月替わりで用意しています。

多くの方のご参加をお待ちしています。

マサコ・ムトー ~しあわせをあなたに~

旧門司市(現在の北九州市門司区)に生まれる。70の手習いでパステル画を始め、76歳、83歳の時、個展を開く。緑内障で右目を失明、左目も色彩感覚や視力が衰えているが、「88歳になっても、手が動けば何でもできることを伝えたい」との意気込みで、新たに紙人形の創作活動にチャレンジした。

紙人形の作品は、身近にある千代紙、ボール紙、新聞の広告、糸などを使い作製し、子どもの時の記憶をたどりながら、大正・昭和時代の当時の風俗・習慣を、手のひらにのるほどの小さな紙人形の世界で再現した。アメリカ、フランスでの個展を開催し、好評を博す。

詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 4月号 2013年

発行・編集「到津の森公園」「森の仲間たち」13年4月1日発行 通巻122号

生誕100年 マサコ・ムトー人形展

4月6日(土)~6月16日(日)

旧門司市に生まれたマサコ・ムトー(本名・武藤正子)さん。光を失い、80歳の手習いで始めたにもかかわらず、彼女が織りなす小さな作品たちは、何ごとも人生遅すぎることはないのだと、私たちに希望を与えてくれます。

北九州市が誕生して50年。そこからさらにちょうど50年前、つまり今から100年前に誕生したマサコ・ムトーさんによる作品展を開催します。明るく前向きに生きた、魅力あふれるマサコ・ムトーさんの人間像をご堪能ください。

● 展示日時:4月6日(土)~6月16日(日)

9:00~17:00

※5月3・4・5日は~19:00

※6月4・11日(火)は休園

● 場 所:管理センター 2階ロビー

● 観 覧 料:無 料(入園料は必要)

● 展示内容:戦時中の思い出、めかり神社の神事、
聖書物語などを題材にした紙人形
(3cm~5cm)約90点、
パステル画5点、絵手紙20点、ちぎり絵10点、
マサコ・ムトー一言集 など



手のひらのしあわせ紙人形

四月の声を聞く頃すでに、ソメイヨシノは散り果て、その根方には無惨にも蕊(シベ)が踏みしだかれています。

それでも園内をそぞろ歩くと、桜と同じバラ科の花を見る事ができますね。

梅・桃や李(アンズ)の時機は過ぎていますが、花梨(カリン)・姫林檎(ヒメリンゴ)・各種イチゴ等、花も実も楽しめる嬉しい仲間たちの花がいっぱい。

花の女王・西洋バラにモッコウバラ。原産地の中国では美人の形容に用いられる花海棠(ハナカイドウ)。

最近ではピンクの花も多い雪柳はコゴメザクラと呼んだ子供時代を思い起こさせる懐かしい小木です。

数多くのバラ科の植物の中で(何しろ世界で3,000種)、これから園内での楽しみは、ヤマブキと思われま。

「姿見の池」を見下ろす森の斜面に咲き広がり、明るい黄色でありながら華美にならないのは一重だからでしょうか。

本来山中の谷や小川沿いに野生することが多く、木陰でそよ風に揺れるたおやかさに魅了されてしまいます。

実は五片の星型、園芸種のヤエヤマブキは江戸城を築いた太田道灌の有名な歌にあるように、実を結びません。

残念ながら園内には見当たらないシロヤマブキもまた、上品な美しさで惹きつけられますが、元々まれに山中に自生するもので、庭木や花材として愛されます。

葉脈にそって窪みのあるふわふわ柔らかい葉も美しいものです。

春爛漫、丹精された西洋シャクナゲ等と共に小さな野草たちも生命いっぱいにつけ、「みんなに会えるのを待ってるよ!」と呼びかけています。



文：花咲くおばさん

花暦 卯月

森の仲間たち・プレーリードッグ

春のうれしいお知らせといえば、あかちゃんの誕生ですね。

プレーリードッグは、2月28日に5頭のあかちゃんがうまれました。お父さんのチョコくんとお母さんのモモちゃんは、はじめての出産・子育てです。12月末からお見合いを始めるため、2頭はみなさんから見えないお部屋ですごしていました。2月の半ばに妊娠診断をした時、モモちゃんのお腹に1~2頭のあかちゃんが確認できました。そして、無事に出産。モモちゃんのはじめての子育てとは思えないくらい、落ち着いてお世話をしています。

じつは、プレーリードッグはメスが1頭で出産・子育てをするといわれているのですが、お父さんのチョコくんも子育てに参加しているんです。モモちゃんがエサを食べたりしている間、チョコくんが5頭のあかちゃんをお腹にかかえて温めたり、あかちゃんをなめてきれいにしてあげています。チョコくんのお父さんバイオくんも子育て上手な「イクメン」なので、父バイオくんを見習ったのでしょうか。

あかちゃんたちは、少しずつ毛がはえて、歯もはえてきました。4月の半ば頃には子育て部屋から出て、お父さんやほかの家族といっしょに外に出るようになります。その頃にみなさん、元気な赤ちゃんたちに会いに来てくださいね。



飼育展示係 今田 文